

5月7日(火)

十字架における神様のご計画

聖書朗読 ヨハネ 19：17～24

あなたがたは、神の定めた計画と神の予知とによって引き渡されたこの方を、不法な者の手によって十字架につけて殺しました。使徒の働き 2：23

旧約聖書に書かれていることが新約聖書において成就されるのを読むたびに、神様は予知されていただけではなく、ころから起こることに関与されていたことがわかります。新約聖書に書かれている出来事は、神様のご計画されたことでした。イエス様の十字架上で死を取り巻く出来事も神様のご計画であり、今日、読んだ聖句には預言を目にレビに見えるかたちにした出来事や人々が沢山書かれています。そのひとつが、詩篇 22：18 「彼らは私の着物を互いに分け合い、私の一つの着物を、くじ引きにします。」です。兵士たちがイエス様の着物を略奪して分け合ったのは、詩篇 22：18 が成就するためだったと、ヨハネは書いています。

ヨハネはイエス様をとても愛していたので、イエス様の十字架を描写する文章を短くしたかもしれません。一方、ルカの福音書 23章では、イザヤが数百年まえに預言していたことが書かれています。イエス様は裁判にかけられ死刑を宣告去れましたが、告発者たちの前では沈黙を通しました(イザヤ書 53章)。このことも神様はご存知で、関与されていました。

イエス様の死という真実における神様の目的とご計画は、私たちにいのちをもいたらすことにあります。イエス様は神様の目的に従われました。ですから、私たちもまた神様はあらかじめご存知でいらっしゃる、関わっていることを確信しましょう。

讃美歌 第二編 185

祈り 比類なきお父様。私の重荷があなたの御恵み、御知恵、お約束で軽くされたことを覚えることができますように助けて下さい。
イエス様の御名によりて。アーメン。

ロン・グズマン
テキサス州 サンアンジェロ

5月8日(水)

「御名において」が意味すること

聖書朗読 使徒の働き 4：5～12

またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。ヨハネ 14：13

両親は、赤ちゃんにいい名前をつけようと一所懸命努力します。自分の子どもたちに素晴らしい名前をつけることを夢見て、あれこれ名前を考えながら幸せな時間を過ごします。子どもに名前をつけるには自分の想像力がものを言います。

神様は名前とその意味をととても重視していらっしやいます。神様は、アブラムという名前を、「多くの国民の父」を意味するアブラハムに変えました。また、アブラハムの妻のサライを、「国々の母」を意味するようにサラと変えました。

創世記 17：16 で、「わたしは彼女を祝福する。彼女は国々の母となり、国々の民の王たちが、彼女から出てくる。」と神様は言われました。神様は約束された息子、イサクの血筋を通してメシアが生まれるようにご計画されました。名前は、神様のご計画の中で、それぞれの役割を果たすように定義づけられています。

男の子を産むことをマリアに告げるために、天使が彼女のところにやってきたとき、マリアは天使から「その名をイエスとつけなさい」と告げられました。このお名前以外に私たちが救われるお名前がないことが、聖書を読むとわかるので、マリアが天使からそれを告げられたことは重要でした。私たちは御父、御子、聖霊の御名においてお祈りします。そうです、名前は重要なのです。御名に祝福を。

讃美歌 461

祈り 親愛なる主よ。私たちの時間はあなたの御手にあります。あなたの御名をずっと近くに保ち、あなたにご奉仕することができますように助けてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロライン・イエイツ
ノースカロライナ州 ローリー

5月9日(木)

その次に正しいこと

聖書朗読 使徒の働き 13:42~52

だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。 マタイ6:33

「自分で掘った穴から出るにはどうしたらいいですか」といった類の質問をされたことはありませんか。友人のひとりが教えてくれた答えは、「次に正しいことをしなさい」でした。次に正しいことは楽しいことではないかもしれませんが、普通ならしないことかもしれません。でも、私たちには、してはダメなことは分かっています。なぜなら、すでにその道を通ってきたからです。だから、あなたには選択肢があるのです。

次に正しいことは、おそらくそんなに極端なことではなく、単純なことです。たとえば、ベッドから出る、夜、熟睡する、早起きする、健康にいいものを食べる、仕事に行く、「ごめんなさい」という、散歩をする、教会に行く、電話をするなどです。次に正しいことをすると、自分が今生きていること、目の前にあることに向き合うこと、神様、隣人、自分自身を愛することを思い起こすことになります。

このことに関するイエス様のお考えは、聖書の中にあります。聖書をじっくりと呼んでみましょう。あなたが次に正しいことをするとき、神様の祝福がありますように。

讃美歌 ♪神の国とその義を♪

祈り お父様。あなたの前にしゃしゃり出て、支配して、あなたの御力を待たないことを赦して下さい。あなたの御跡に従えるように、次に正しい一歩を踏み出すことができますように、今、助けて下さい。

イエス様のお名前によってお願いいたします。アーメン。

アンディ・ウォール
カリフォルニア州 オークパーク

5月10日(金)

命の代価を払って

聖書朗読 ローマ 8:1~4

私たちがまだ弱かったとき、キリストは定められた時に、不敬虔な者のために死んでくださいました。 ローマ 5:6

神様とイエス様はいつも共にいました。神様は、初めから定められた時にイエス様を人間の姿で地上に遣わそうと決めていました。それは地上の歴史においてそれまでなかった事でしたし、二度とないことでした。

神様は、ひとり子としてイエス様を地上に遣わせることを選びました。それは神様の計画であり、イエス様がただ一人、罪のない人間として死ぬことで、私たちのアダムより始まる原罪を贖うためでした。

それ故に、神様はそのひとり子を十字架につけ、殺し、そして失ったのです。すべては私たちの罪を赦すためでした。神様はそれがどれだけ辛いかをご存知でしたが、私たちを救うために計画を実行に移したのです。この犠牲によって、私たちキリスト者は、再び神様の下に立ち返ることが出来るようになったのです。

讃美歌 257

祈り 天にいます父なる神様、あなたのすばらしい計画により、私たちが導かれましたことを感謝致します。賛美と祈りを通して、私たちはあなたの御前に立ち返り、成長し、あなたの子供として形作られることを覚えます。私たちのために犠牲になって下さったイエス・キリストを通してこの祈りを御前にお捧げします。アーメン。

ノーマ・プリビット
カリフォルニア州 サウザンドオークス

5月11日(土)

神様は「名もない者」を選ばれる

聖書朗読 I コリント 1:26~31

主があなたがたを恋慕って、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの民よりも数が多かったからではない。...しかし、主があなたがたを愛されたから、また、あなたがたの先祖たちに誓われた誓いを守られたから、主は、力強い御手をもってあなたがたを連れ出し、奴隷の家から、エジプトの王パロの手からあなたを贖い出された。 申命記 7:7~8

スターウォーズ・エピソード9では、レイの正体が、砂漠で捨てられ、孤独に成長し、たったひとりで生きなければならなかった「名もない」人間だと明らかになります。コリントに住んでいる奴隷たちに語りかけている言葉を思い浮かべてみてください。「この世の愚かな者を選び、...。この世の弱い者を選ばれたのです。また、... 無に等しい者を選ばれたのです。」アメリカのスラム街に住んでいる子どもやアパラチアに住んでいる若い女性、老人ホームに入っている孤独な老婆がパウロの言葉を聞いた時のことを想像してみてください。老人、病人、心が疲れてしまっている人、社会的弱者、醜い人、魅力が感じられない人、うつ病の人、性別や肌の色で差別されている人たち。この世に住んでいる人々は皆、この地上でどのような人が名もない、小さき人として扱われているかを知っています。

コリント書に書かれているパウロの言葉は良い知らせです。福音なのです。神様は捨てられ、価値無き私たちを救うために十字架にかかれたのです。神様は名もない人と同じように生まれ、名もない人と共に生き、名もない人々と同じように亡くなりました。そして、イエス様が蘇った時、イエス様に信頼を置く者が蘇ると約束して下さいました。

自分がつまらない、価値のない人間だと感じて、神様がそんなあなたこそ愛していることを覚えておいて下さい。この世で小さき者と思われる人のために神様は素晴らしいことをなさいます。昔も、今も、これからも。

讃美歌 第二編 196

祈り 心の牧者であられる主よ。はっきりとあなたの示す道が見えるようにしてください。素早く信じ従って行けますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

マット・パルマー
テキサス州 ラボック

5月12日(日)

理解し感謝する

聖書朗読 I コリント 12:12~16

われらの主は偉大であり、力に富み、その英知は測りがたい。 詩篇 147:5

父は五年間しか学校に通っていなかったのに、様々な知識を持っていました。そんな彼のことを思い出すたびに、私は無用に他人と自分を比べることがいかに時間の無駄であるかを思い出します。

パウロは私たちキリストの下で一つになることは、一つの身体を作り上げるようなことだと言います。恐れや疑いはそこには存在しません。教会にある多様性は弱さではなく、それは最もすばらしい強さのひとつなのです。神様は私たち一人一人をユニーク異なったものとして造って下さいました。そしてその異なった賜物を神様の御国をさらにすばらしく作り上げるために使うようにお命じになっています。

人間が時々他人を疑ったり、他人と比べたり、自分の価値を見出せなくなることは良くあることです。なぜなら、私たちは神様が描いている壮大なご計画が見えていないからです。神様の大きい目的がです。

神様の子どもである私たちは、そのまま神様に完全に理解され愛されているのです。

私たちが神様の目を通して自分を見つめる時、自分と自分の周りに見える物がもっともっと好きになるでしょう。

讃美歌 537

祈り 天のお父様。あなたが私たちを愛して下さっていること、あなたが私たちにご計画されていること、またそのご計画を成就できる能力があることを信じていることができますように助けて下さい。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ランディ・ロバーツ
ニューメキシコ州 グランツ